

強化選手 1118 人に 山口国体 県庁で指定証交付式

本年度の山口国体強化指定選手とトップスポーツクラブに対する強化指定証の交付式が 10 日、県庁であり、新たに 513 人、3 団体が指定を受けた。県は 2011 年の山口国体に向けて毎年、国体強化指定選手を指定しており、今回で合計 1118 人となり、初めて 1 千人を突破した。

交付式には、代表者 44 名が出席。県競技力向上対策本部長の西村亘副知事が「山口国体で総合優勝するためにも、今年の新潟国体では総合得点 1 千点という目標を達成して欲しい」と挨拶し、代表者に指定証を手渡した。

出席者を代表して、水泳成年男子の園中良次選手（きらら山口）と、バレーボール少年男子の藤中謙也選手（宇部商）が決意表明。西村副知事のかげ声に合わせてガンバローコールをあげ、気運を高めた。

国体強化選手は、「山口国体で活躍が期待できる選手」として指定されており、指定を受けた選手には、県外遠征や強化合宿の費用の補助などを行い、競技力向上の取組をサポートしていく。

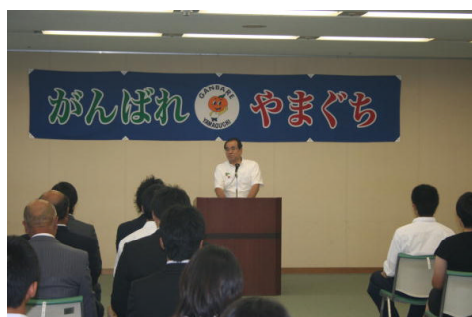
藤中選手は「2011 年は多くの人の期待に応えられるよう頑張りたい。まずは 7 月のインターハイでベスト 4 を目指す」、昨年の大分国体の空手成年男子組手で優勝した井瀨智選手（防府商教）は「新潟国体では連覇を達成したい」と意気込んでいた。



指定選手証を受ける大橋選手（陸上）



決意表明をする藤中選手（バレーボール）



西村本部長挨拶



ちよるる も一緒にガンバロー